

2013.12.3

男性不妊症の現状と課題



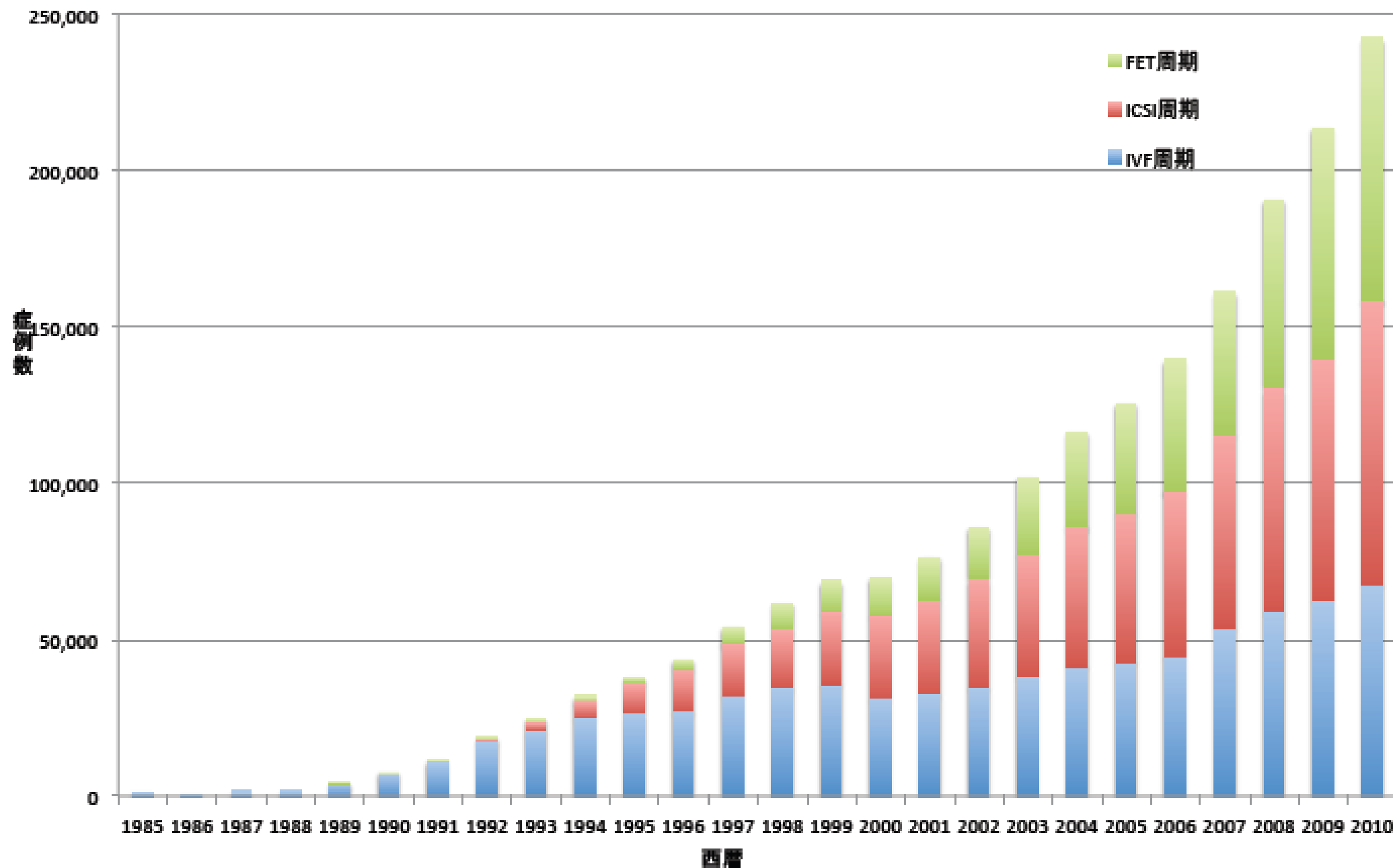
石川 智基

リプロダクションクリニック大阪

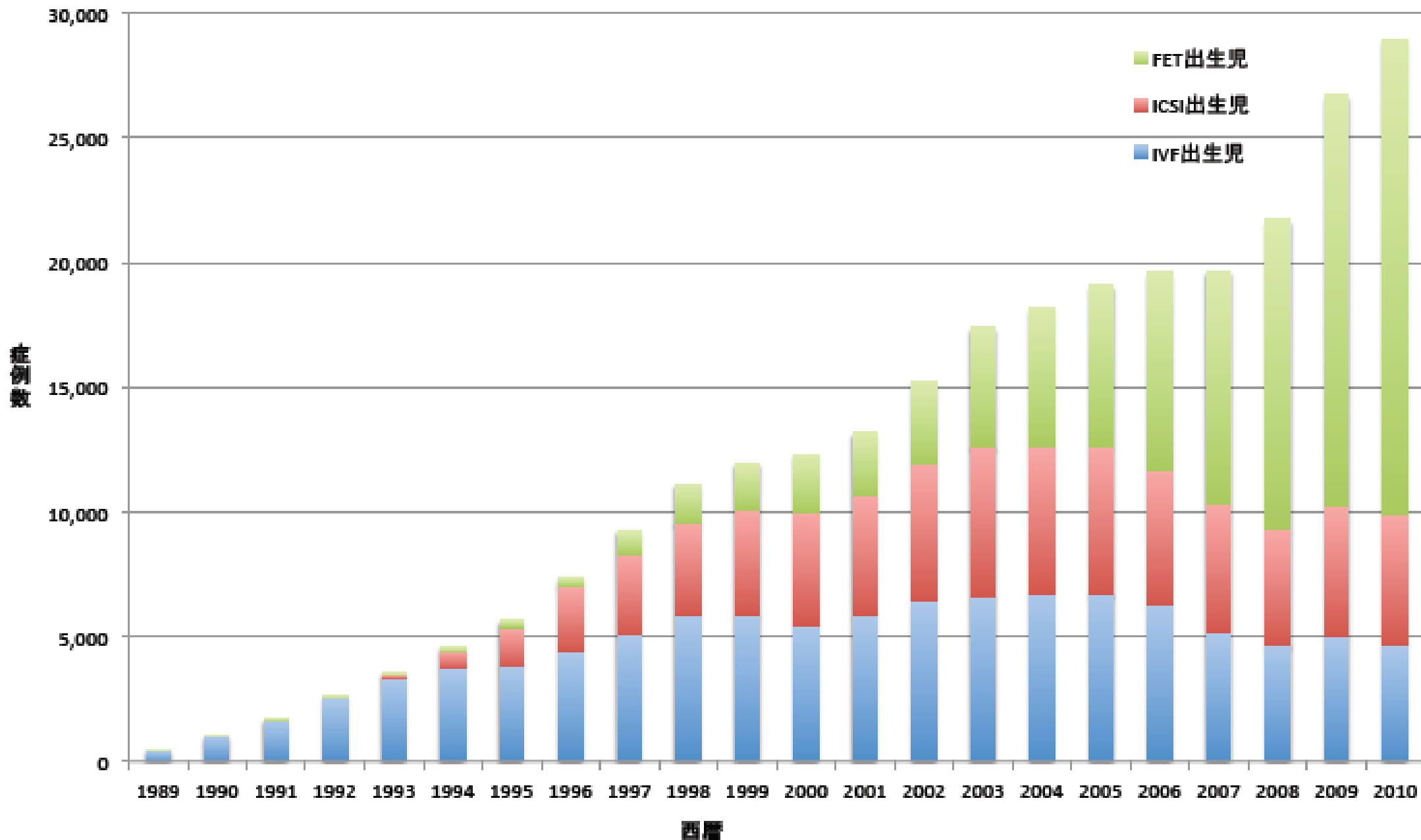
Introduction

- ✓ 補助生殖医療(ART)の発展により、乏精子症また無精子症の患者においても精子が獲得できれば、拳児を得ることができるようになった。
- ✓ 生殖医療医はほとんどが婦人科医であり、男性側の診察をしないまま、精液検査の所見のみで補助生殖医療(ART)が行われることが多い。
- ✓ 補助生殖医療(ART)の成功率は低く、患者カップルの金銭的、肉体的負担は大きい。

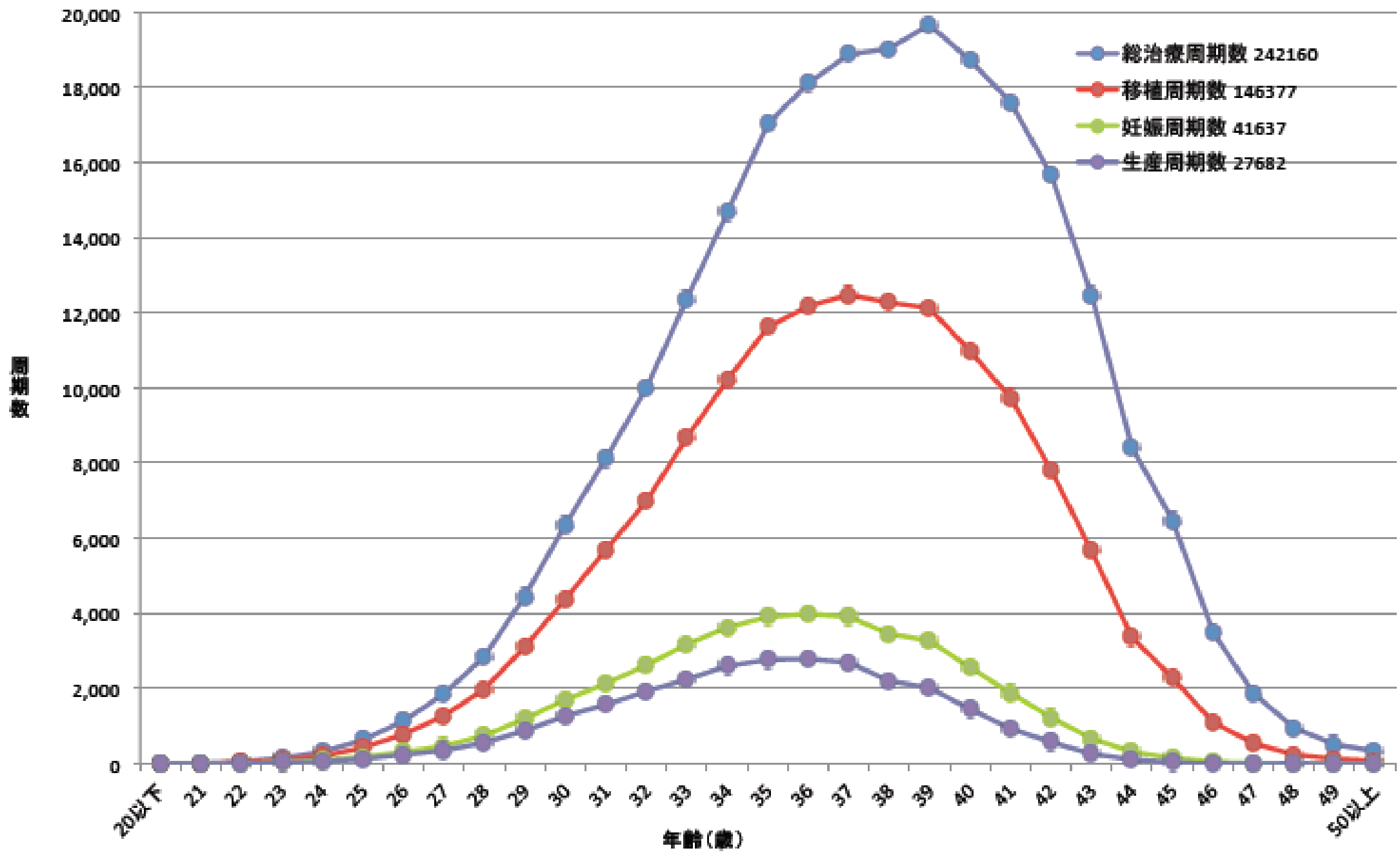
年別 治療周期数



年別 出生児数



ART治療周期数 2010

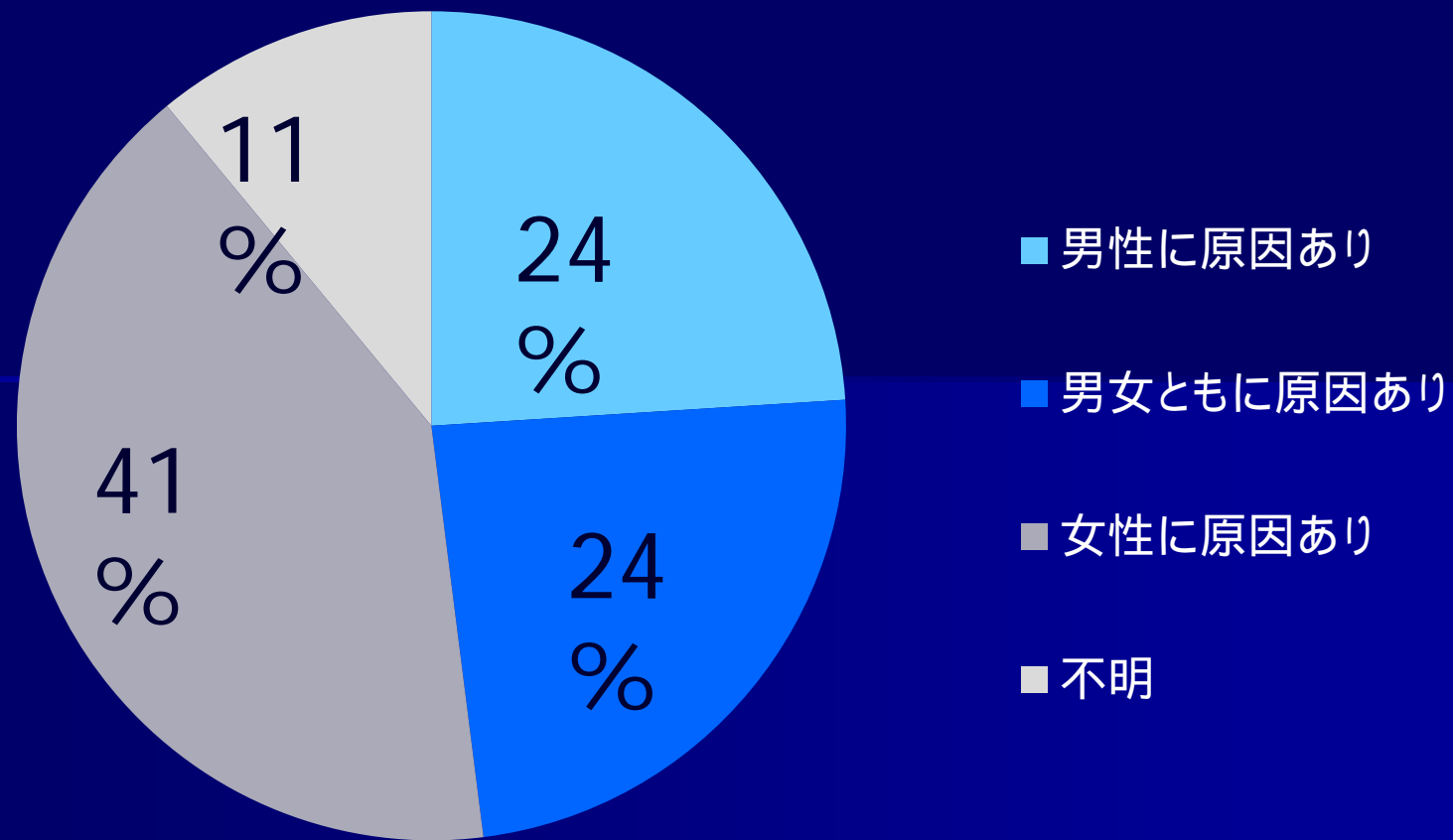


リプロダクティブヘルスへのサポート

- 男女両側に対してのリプロダクティブヘルスライツに係る知識・情報の提供及び教育
- 出産年齢高齢化に伴う不妊治療の支援



精子がなければ妊娠はできない！！



- 男性に不妊症の原因が見つかるカップルは48%、不妊症の検査は夫婦ともに受けることが望ましいと考えられる。
- しかしながら、本邦では、一般的にその大半は先ず妻が婦人科を受診し、さんざん女性側の検査が進められる。
- 不妊治療は夫婦が二人三脚で取り組んでいく姿勢が絶対条件であるにも関わらず、日本ではこの態勢が全くとられていない。

生殖医療専門医の人数は？

- **女性不妊専門医 486名**
- **男性不妊専門医 45名**

日本では男性不妊専門医の下での診療は
実際にはほとんど行われていない。

男性不妊治療をうたっている施設でも、男性不妊外来日が週1日程度であり、夫婦別々に2カ所の施設への通院などが現状。

✓ Egg: 女性の年齢に比例して「質」は低下

✓ Sperm: 精液検査所見の悪化に比例して「質」は低下

→ Spermに対しての対策はほとんどなされていない。

Avoidance of sperm oxidative stress

-The key to super sperm!!



- 禁煙
- 男性不妊専門医診察
- 精索静脈瘤があれば治療
- 禁欲期間を短く
- ビタミンC, E内服
- 精液中の白血球少なく
- トラックス勤める
- サウナ控える

リプロダクティブヘルスへのサポート

- 男女両側に対してのリプロダクティブヘルスライツに係る知識・情報の提供及び教育
- 出産年齢高齢化に伴う不妊治療の支援

特定不妊治療にかかる助成制度

- 対象治療: 体外受精・顕微授精(採卵に至ったもの)
- 助成対象: 特定不妊治療以外の方法では、妊娠の見込みがないか極めて少ないと医師に判断されたこと
- 法律上の夫婦であること
- 指定医療機関で治療したもの

不妊治療は夫婦そろっての治療が望ましいにもかかわらず、男性側への支援体制が全くない

無精子症とは

射出精液中に精子を認めない状態

1. 閉塞性無精子症

精路に原因

2. 非閉塞性無精子症

精巣に原因

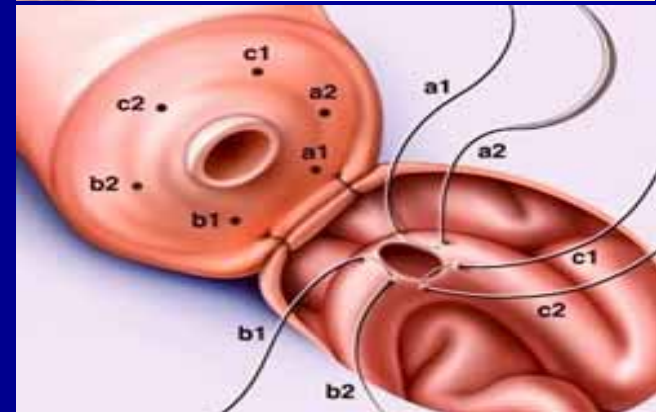


閉塞性無精子症に対する手術療法

1. Reconstruction (精路再建術)

Vasovasostomy (精管精管吻合)

Vasoepididymostomy (精管精巣上体管吻合)



2. Sperm retrieval-ICSI (精子回収、顕微授精)

Percutaneous testicular sperm aspiration

Simple TESE

MESA (Microsurgical epididymal sperm aspiration)

PESA (Percutaneous epididymal sperm aspiration)



非閉塞性無精子症



精路(精細管も含む、精巣上体、精管、精囊、前立腺、尿道)は非常に長い！！

1. 精巣内で全く造られていない
2. ほんのわずかだけ造られているが、射出精液中に出てくるほどではない

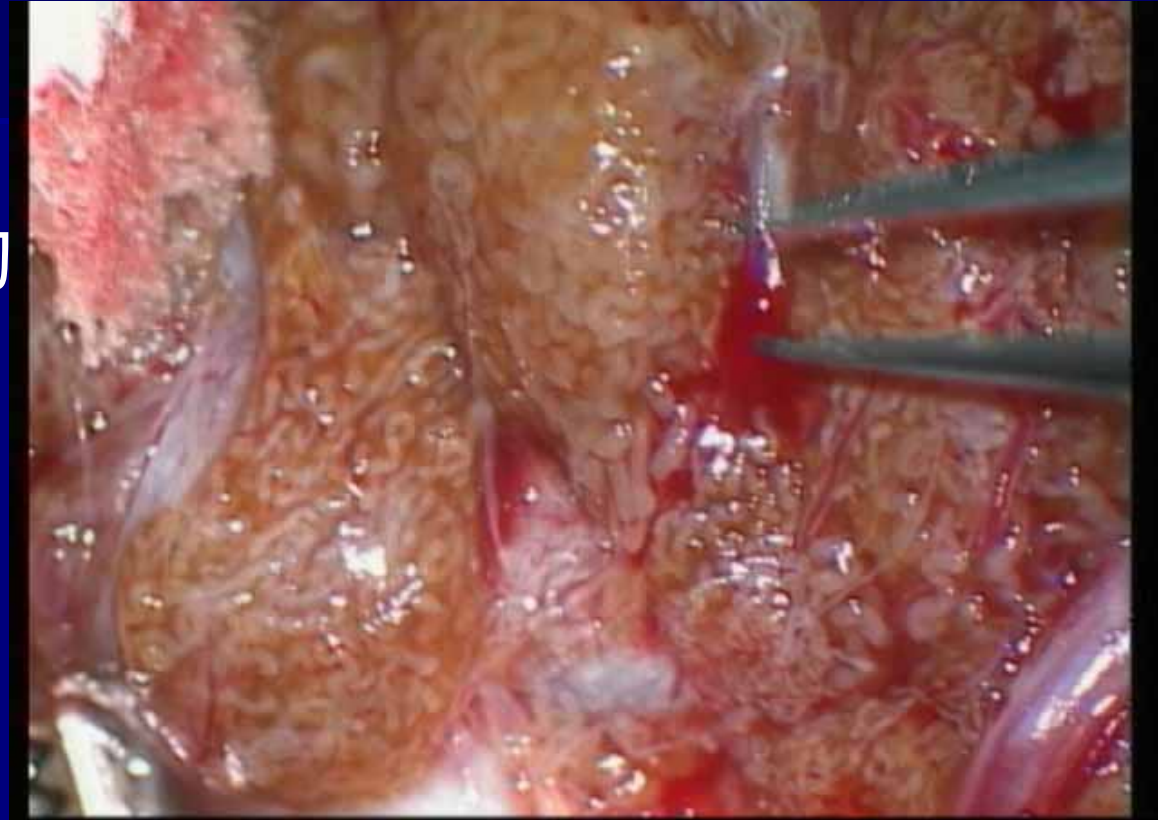
Micro-TESEの実際

(概念)

精巣内における精子形成は不均一である

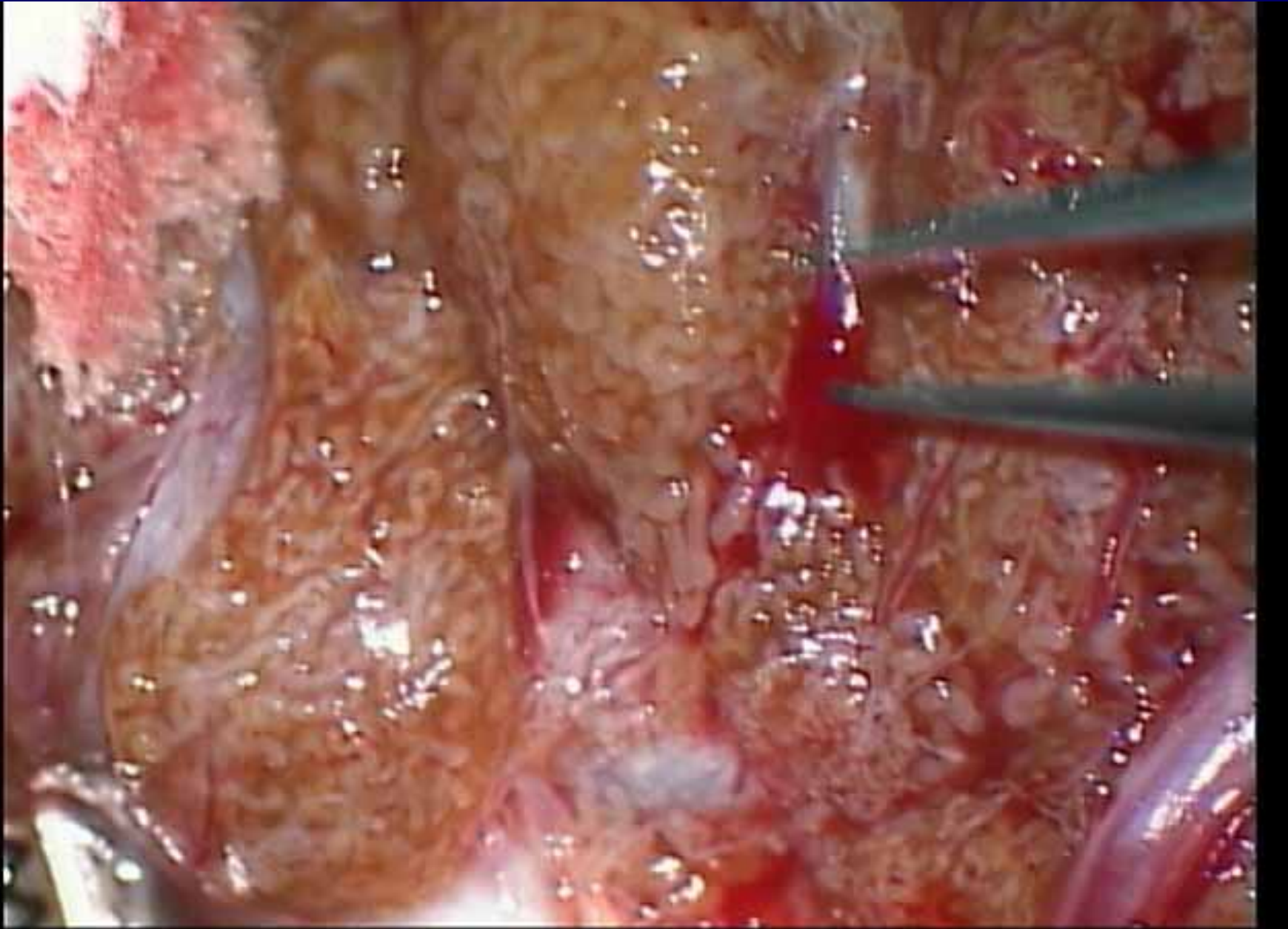


顕微鏡下に、精子が存在しそうな拡張した精細管を回収



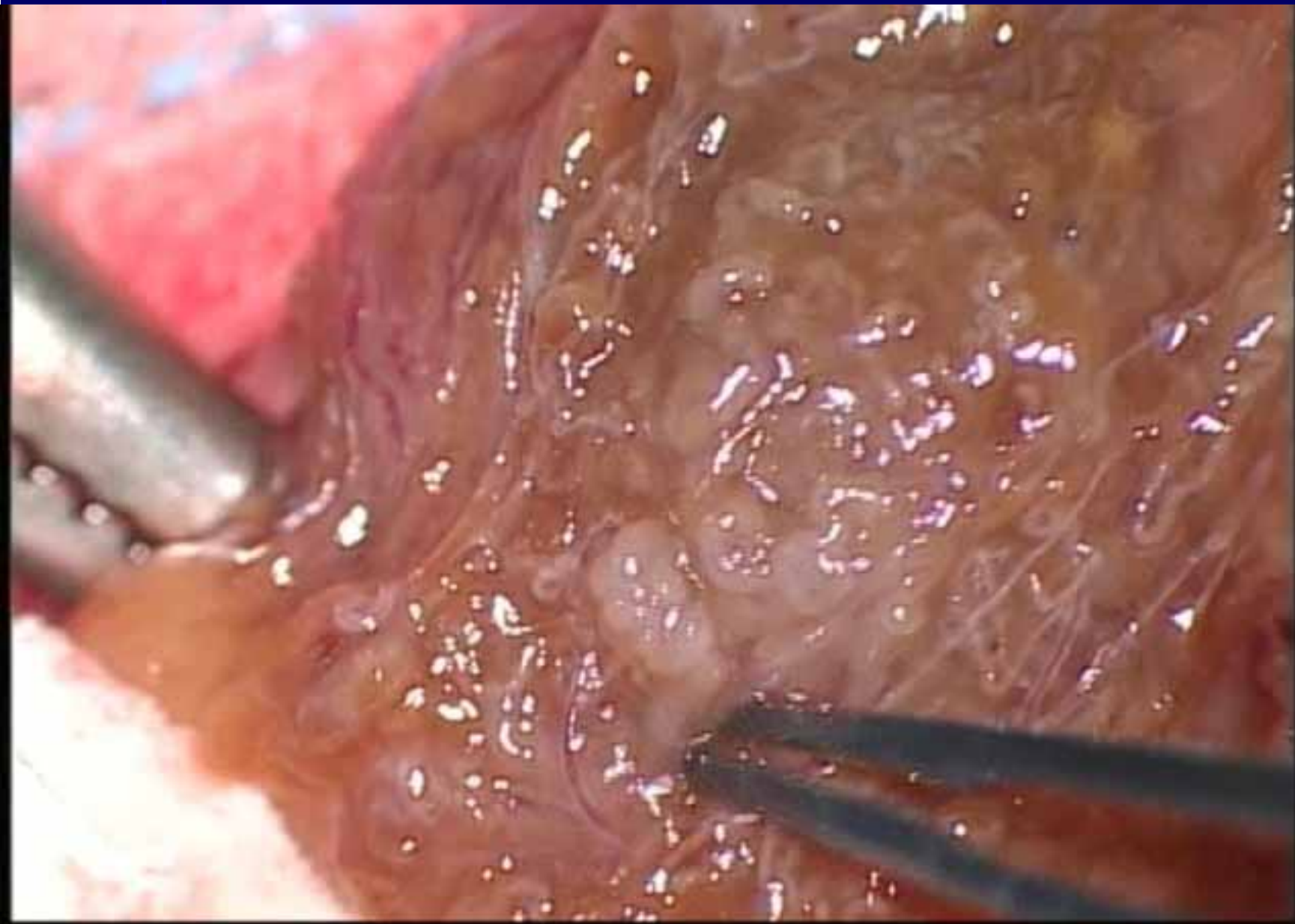
- すべての精細管を見ることは不可能
- 精細管の拡張所見は術者の主観による部分が大
- どの精細管も均一に見える症例が数多く存在する

Micro-TESE (46XY with NOA 1) SR+



31 years
FSH 24.2 mIU/ml
LH 8.7 mIU/ml
T 2.1 ng/ml
T.V. 5 ml
46XY

Micro-TESE (Klinefelter syndrome 1) SR+



32 years
FSH 35.2 mIU/ml
LH 29.7 mIU/ml
T 1.5 ng/ml
T.V. 4 ml
47XXY (non-mosaic)

関西イノベーション国際戦略総合特区

関西イノベーション国際戦略総合特区における特区税制(府市税)審査会の認定案件として、下記のとおり、医療法人仁寿会の事業計画を認定した。

本事業計画は、国が行っている総合特区制度に基づく認定を受けることなく、府市が認定した地方税の特例制度のみが対象となる第1号案件となります。

認定案件の概要

【法人名】医療法人仁寿会

【事業所名】リプロダクションクリニック大阪

【事業実施地】グランフロント大阪 タワーA(大阪市北区大深町4-20)

【事業概要】夫婦とも治療を行い、体外受精、顕微授精など、高度な生殖医療を実施する。

【事業実施期間】平成25年9月15日から平成30年3月31日まで

本制度は2012年12月、大阪府内に6か所ある特区に府外から進出した企業などを支援するために始まったもので、新エネルギーやライフサイエンスといった革新的な分野に関する事業計画が認定されれば、法人府民税や法人事業税などが最大でゼロになる。

まとめ

- ✓ 不妊症は男女ともが原因になりうることを情報発信すべきである
- ✓ 各種施策や事業を取り入れることにより、事実情報を提供するのにもひとつの方法である
- ✓ 無精子症などの男性不妊治療にも助成金制度を取り入れることにより、不妊治療は夫婦そろって行うものであるという認識を定着させる